

第77回

KANEMATSU KGK



●事業内容

工作機械、産業機械、エネルギー関連及び周辺機器の販売

●Kanematsu KGK Vietnam Co.,Ltd

ハノイ本社:Room 902, TTC Tower, Duy Tan Str.,Cau Giay Dist., Hanoi, Vietnam

ホーチミン支店:Floor 8, Phuoc Thanh Building 199 Dien Bien Phu Street, Ward 15, Binh Thanh District, Ho Chi Minh City

ハイフォン支店:Floor3,Techcombank Building,8 Lot 22. Le Hong Phong Str.,Ngo Quyen Ward. Hai Phong City,Vietnam

●日本本社

〒176-8510
東京都練馬区桜台1-1-6

●ホームページ

<http://www.kgk-j.co.jp/top.html>

株式会社兼松KGKは、工作機械、産業機械及び、周辺機器の販売事業を行っており、2013年4月にKanematsu KGK Vietnamをハノイ市に設立、その後、6月にホーチミン事務所、2015年には、ハイフォン事務所を設立しており、ベトナム全土で工作機械、周辺機器の販売と修理・メンテナンス事業を行っています。

今回は、そんなKanematsu KGK Vietnamの飯塚副社長にお話を伺いました。

○進出の経緯について教えてください。

当社は、工作機械、産業機械及びその周辺機器の販売を専門に行う機械商社です。日本の製造業の海外進出に伴い、当社もお客様をサポートするために海外展開を行ってきました。初めての海外拠点としては、35年前にアメリカのシカゴにKGK International Corpを設立しましたが、その後、タイ、中国、インドネシアなど、日系製造業の進出に併せて拠点設立を行ってきました。そんな中、日系製造業の進出が増加しているベトナムにも拠点が必要となり、2008年にハノイ市に兼松KGKの駐在事務所を設立しました。その後、ますます増加する日系製造業の需要に対応するため、兼松KGKの100%出資現地法人であるKGK VIETNAMをハノイ市とホーチミン市にほぼ同時に設立しました。ハノイに駐在事務所がありましたので、本社はハノイ市にて登記しましたが、ホーチミン市も日系製造業の進出が盛んであるため、2か月遅れではありますが、ほぼ同時に事務

所を開設しました。その後、2015年には、ハイフォン市にも事務所を開設しましたので、現在はベトナム国内3拠点にて事業を行っております。

○事業内容を教えてください。

当社は、工作機械、産業機械、エネルギー関連及び、周辺機器販売専門商社である兼松KGKの100%子会社です。ベトナムで行っている事業内容としましては、工作機械の販売、修理、メンテナンス、周辺機器の販売、工場製造ラインの設計コンサルティングなどとなっております。

ベトナム国内では、2輪車、4輪車用の部品製造業向けにマザーマシンの販売や、サンドイッチ、ケーキ、ソーセージ等の食品製造向けの機械の需要が高くなってきています。特に最近では、食品産業での品質向上が求められるようになってきており、高品質な日本製食品製造機械の需要が高まってきていると感じています。

また、ベトナム経済の発展により物流量が増

加してきており、倉庫などでもこれまでの様に人手で対応するだけでは対応が難しくなっております。そこで、物流倉庫などで使用される搬送装置など自動化の需要に対応する設備の販売にも今後力を入れていきたいと考えています。その他にもキュービクル高圧受電設備、建設工事用の電機設備、産業用ロボット等も取り扱っており、工業用の消耗品も様々なメーカーの製品を幅広く取り扱っています。

弊社の営業活動は、お客様から製造現場で実際に起きている課題をお伺いして、その課題を解決するために必要な最適のソリューションをご提案するというスタイルで行っております。

日本では、様々なメーカーが様々な製品を提供しており、製造現場で必要となるものが、簡単に調達できるのですが、ベトナムではそうもいきません。まだまだ手に入り難い製品や、日本から輸入しなければならない製品が沢山あります。また、製品によっては日本製では、価格的に導入が難しいということも



あります。そういった、現場での様々なお困りごとをお伺いして、新たな製造機械のご提案や、台湾製などより安価な機械のご提案など、常にお客様にとって最適のご提案を行うことを心がけています。

勿論、このような提案を行っていくためには、各種機械に対する幅広い知識が必要になりますので、私自身もこの業界で13年以上の経験がありますが、まだまだ勉強していかなければならないことが沢山あります。

それから、日本企業がベトナムに進出する場合、日本でこれまで使用していた中古の機械をベトナムへ持ってきて製造を行うケースが良くあります。その場合に最も懸念されるのが、アフターサービスの部分です。ベトナムへ持ってきた機械のメーカーがベトナムに進出していない場合、機械が故障すると修理に非常に困ることになります。そのような際にも当社では、ご相談を頂ければ、修理対応などを行っております。

勿論、将来的に製造が軌道に乗った場合は、新しい設備の導入などのご提案もさせていただきます。

また、これまで、日系企業のお客様との取引が中心でしたが、今後は、ベトナム企業に対しても販売を拡大していきたいと考えています。ベトナムの製造業もここ最近で徐々に製造レベルが上がってきており、現地の日系企業も、ベトナム企業に対して部品な

どの製造を依頼するケースが増えてきているので、ベトナム企業もそれらの仕事に対応するために、日本製の工作機械など新しい設備の導入が必要となってきています。ですから、そのようなベトナム企業に対して、新しい製造ソリューションを提案していきたいと考えています。

○御社の特徴などありますか？

当社は、ハノイ、ホーチミン、ハイフォンに事務所がありますので、ベトナム国内の幅広い地域でのアフターフォローが可能です。また、最近では、ベトナム企業への営業活動に注力している関係からベトナムの製造業に関する情報が集まるようになってきました。一方で、現地の日系企業からは、現地企業への委託加工の相談を受けることが増えてきていますので、自社のネットワークを最大限に活用して、お客様同士を繋げることも行っています。特に新しく進出した日系企業の場合は、あまり現地の情報がありませんので、現地での委託加工に関するお困りごとなどをお伺いした際には、出来る限り可能性のありそうなベトナム企業をご紹介しますようにしており、実際に取引につながったケースもあります。

もし、ベトナム企業への委託加工などでお困りでしたら、ご相談を頂ければ極力対応しますので、お気軽にご相談を頂ければと思っています。

○10月に開催されるMETALEX VIETNAMに出展されると伺いましたが？

METALEX VIETNAMには、今回が初めての出展になります。今回出展したきっかけですが、先ほども申し上げましたが、これまで当社は、日系企業のお客様を中心に販売を行ってききましたが、今後はベトナム企業への販売を拡大したいと考えております。そのた

めに、ベトナム企業に対して、これまでにない新しい機械を紹介することと当社の知名度アップを目的に出展することを決めました。今回の出展では、ビニールなどを溶接する超音波溶接機など、ベトナムでは、まだあまり知られていない製品を紹介していきたいと考えています。

ベトナム企業も最近では、品質向上の為に日本製の設備を導入したいというケースが増えてきていると感じていますので、ベトナム企業の品質や効率を向上できる製品をどんどん紹介していきたいです。

勿論、日系企業の皆様にも、製造現場でのお困りごとなどございましたら、お気軽にお立ち寄り頂きたいと思っています。

○今後のベトナム製造業について

既に多くの日系企業がベトナムに進出してきていますが、裾野産業を成り立たせる為に、まだベトナムに足りない業種が数多くあります。現状では、ベトナムの裾野産業は、まだまだ未成熟で1から10までを全てベトナムで行うことが出来ず、日本から部品を持って来なければならないというケースも多くあります。そんな中、現地での裾野産業へのニーズは高まっており、このような需要をとらえた日系企業の進出は、今後も堅調に進むのではないかと考えています。

また、ベトナム企業にとってもこれまで人力で対応していた業務に関して、物量の増加や人件費の高騰により、徐々に自動化のニーズが生まれてくると思っています。

このような、新たに進出する企業や、自動化を進めたい企業に対して、より高品質で高効率な製造を行う為の機械設備の提案を行っていきたくと考えています。

ありがとうございました。

